

- 電気料金明細票等から入力する場合

電気料金明細票			
電気番号	40998	36	1/6
料金算定期間	R 5 1 1	R 5 1 31	
基本料金	1,000.0 kW		
予備基本料金	1,000.0 kW		
自家発電基本料	650.0 kW		
力割	最大電力		
他季電力料金	189,720 kWh		
夜間電力料金	179,870 kWh		
電力量料金計	369,590 kWh		
燃料費調整額			
料金			
再エネ賦課金			
請求金額			
(再掲)			
相当額			
(参考) 託送料金相当額 2,154,300 円 ※託送供給等約款の単価により算出した参考値です。			
電圧 (V)	10	20	40
電圧 (VA)	50	100	200
電圧 (VA)	300	400	500
ご契約者名			
沖縄電力株式会社			
料金センター			
0120-586-391 (コールセンター)			

電力需給契約種別

電力会社からの電気料金明細票を確認し、使用電力量を契約種別ごとの算定方法で割った値をEMISへ入力

業務用電力Ⅱ型の場合：その他季の使用電力量を月の日数で割った値

業務用季時別の場合：夜間電力の使用電力を日曜・祝祭日と平日夜間における総時間数で求めた値

業務用電力Ⅱ型の場合
夏季電気料金
その他季電気料金
と表示される

業務用季時別の場合
夜間使用電力量
 $\text{Kwh} \div \text{日曜祝祭日と平日夜間における総時間数}$
求めた値

電気設備関連

- ・ 電源車から電気供給する場合の車両停車位置（可能であれば図面添付）
受変電室が設置されている箇所の近くで、電源車が停車できる十分な
駐車スペースから、受変電室内の高圧受電盤若しくは屋外に設置されて
いる高圧受電キュービクル盤までの距離。



自家用発電機設備関連の参考例

・ 発電機の有無及び台数 発電容量 (KVA)

発電機の台数は、実際に設置されている台数を確認

発電容量は、発電機の認証票や設置届出書より確認



発電容量

受電電圧

第4号様式

発電設備
変電設備
蓄電池設備
設置届出書

		福経第 1005 号 平成 12 年 12 月 18 日	
届出者 住所		氏名	
防火 対象物	所在地	電話 番	
名称	用途	病院	
構造	場所	床面積	
鉄筋コンクリート造	屋内(地下1階)、屋外	213.48 m ²	
消防用設備等	ガス消化設備	不燃区画	有・無
換気設備	有・無		
届出 設備	電圧	全出力又は 定格容量	1300 KW (650KW×2)
着工(予定) 年月日	平成 年 月 日	竣工(予定) 年月日	平成 年 月 日
設備の概要 種類 キー・ビタル式(屋内・屋外)・その他 別添図面のとおり			
主任技術者氏名			
工事	住所		
施工者	氏名		
※ 受付欄		※ 経過欄	
13.5.28		届出済 平成 13 年 5 月 18 日 県志川市消防長	

備考 1 届出書の様式は、日本工業規格 A 4 とする。
2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
3 電圧欄には、変電設備にあっては、一次電圧と二次電圧の双方を記入すること。
4 全出力又は定格容量の欄には、発電設備又は変電設備にあっては全出力を、蓄電池設備にあっては、定格容量を記入すること。
5 届出設備の概要欄に書き込まない事項は、別紙に記入して添付すること。
6 ※印の欄は、記入しないこと。
7 当該設備の設計図書を添付すること。

各発電機の燃料油種の確認方法

病院を建築する際の設計図書 機関製作仕様書または、危険物取扱所設置許可申請書（指定数量以上の取扱い施設）または、少量危険物貯蔵取扱所届出書（指定数量の1/5以上、指定数量未満の施設）により確認

様式第2（第4条関係）

製造所
危険物貯蔵所設置許可申請書
取扱所

第 1 項		第 2 項	
申請者 住所 氏名		氏名	
設置者 住所 氏名	設置場所 防火地域別 指定なし 用途地域別 第一種中高層住居専用地域		
製造所等の別 取扱所 貯蔵所又は取扱所の区分 一般取扱所	危険物の類、品名（指定数量）、最大数量 第四類 第三石油類（A重油） 6950 4 指定数量の倍数 3.475倍		
位置、構造及び設備の基準に係る区分 令第19条 （規則第28条の57 第2項）	位置、構造、設備の概要 施設内本館地下1階発電機室に設置、詳細は別紙図面及び構造明細書の通り		
危険物の貯蔵又は取扱い方法の概要 燃料を地下タンクより発電機室内に設置された小出槽へ移送、貯蔵し発電機運転時に消費する。	着工予定日 許可後即日 完成予定期日 平成13年 3月31日		
※ 受付欄		※ 経過欄	
許可年月日 H13年 1 月 12 日 許可番号 第 1530 号		納付済 岐阜県消防本部	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - この設置許可申請は、移送取扱所以外の施設に用いるものであること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 品名（指定数量）の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に（ ）内に該当する指定数量を記載すること。
 - 位置構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規則に関する政令の全文を記入すること。危険物の規則に関する規則の適用条の記載がさらに必要な場合は（ ）内に記載すること。
 - 捺印の欄は、記入しないこと。

燃料油種

工事名称： 設

6N21AL-UN × 650kW

ディーゼル発電装置

納入台数： 2 台
工事番号： F0-4410

ディーゼル機関製作仕様書

1. 機関主要目

機関形式	立形単動4サイクル直接噴射式過給機付水冷ディーゼル機関
機種名	6N21AL-UN
定格出力	706 kW
定格回転数	900 min ⁻¹
気筒数	6 (直列)
シリンダ径×行程	210×290 mm
正味平均有効圧力	1.56 MPa
平均ピストン速度	8.7 m/s
最高燃焼最高圧力	18.1 MPa
使用燃料	反時計方向(左) (フライホイール側から機関を見て) A重油 「ディーゼル機関用、(社)陸用内燃機関協会推奨規格 「陸用ディーゼル機関の燃料性状」 (LES R3004-1989)に同等燃料のこと」 機関システム油：A.P.IサービスグレードCD級、粘度SAE NO.40 過給機：機関システム油と同じ ガバナ油：機関システム油と同じ 機付ポンプによる強制潤滑方式 エアモータによる圧縮空気始動 遠隔停止(自動始動、自動停止、機側手動発停装置付) 強制2系統冷却方式 ジャケット水側：別置電動冷却水ポンプ クラー水側：別置電動冷却水ポンプ

使用潤滑油

潤滑方式

始動停止方式

冷却方式

潤滑油保有量

冷却水保有量

ガバナ用潤滑油

ガバナタンク内

シリンダー内(高温側)

クラー内(低温側)

燃料消費率

潤滑油消費率

過負荷耐力

過速度耐力

速度変動率

窒素酸化物(NO_x)の濃度

潤滑油ポンプ

潤滑油バイパスコシ器

潤滑油冷却器

プライミング電動ポンプ

燃料フィードポンプ

燃料油コシ器

排気ガスタービン過給機

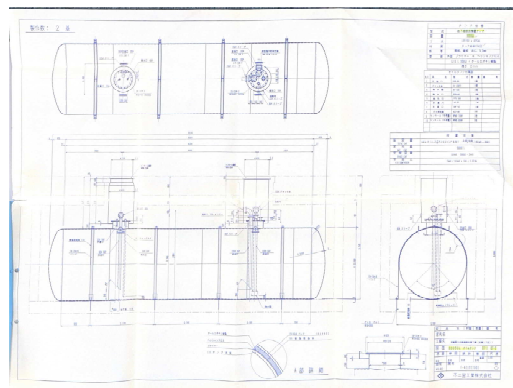
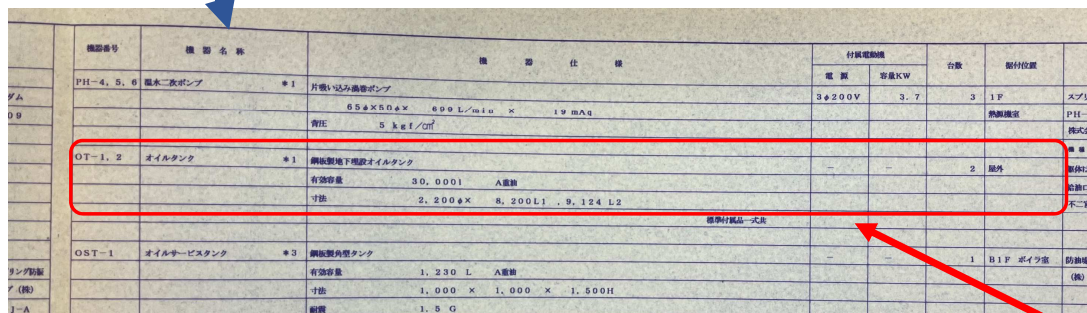
空気冷却器

潤滑機

自動始動停止装置

直車式、17.2 m ³ /h	0.49~0.59MPa
複式切換形ノッチワイヤ式手動逆洗形、40μ	
複心式	
フィン式、多管式 9.92 m ²	
トロコイド式、4.2 m ³ /h (1800min ⁻¹ 当り)	
3φ AC200V 60Hz 2.2 kW	
直車式、0.585 m ³ /h	0.59~0.69MPa
複式切換形ノッチワイヤ式手動逆洗形、42μ	
RH163 形 (空冷) 給気圧力 0.17MPa	
回転数 (定格) 52000 min ⁻¹ (最高) 63300 min ⁻¹	
プレートフィン式、47 m ²	
油圧(機械)式ガバナモータ付、PSG 形	
始動用空気電磁弁 (通電開) DC100V 1.0 A	
停止用空気電磁弁 (通電開) DC100V 0.1 A	

- 設計竣工図及びタンク詳細図より確認



タンク仕様	
型式	地下埋設式側置タンク
容量	30000L
寸法	10720 × 8254L
材質	タンク本体SS400
板厚	胴板、端板 共に、9.0mm
塗装	外面 プライマー + ヘッパシクロス (JIS K 3045) + タルエポキシ樹脂 厚さ 2mm

オイルタンク付属品

入	品 名	型 式	数 量	備 考
1	注 油 口	EDP-10	1個	
2	チアッキ弁	CV-100F	1個	
3	排 水 口	BT-100	1個	
4	排 水 口	B3B-10	1個	
5	減 風 口	EVG-501	1個	
6	計 量 尺	JS-31	1本	
7	計 量 口	EW-10	1個	
8	ネオ線知電	NEO-10F	1本	
9	マンホール (中荷重)	MWEL-10AM	1枚	
10	マンホール (中荷重)	MWEL-10AM	1枚	

容 量 計 算	
總 容 量	$345.16 \text{ L} \left((1.2 \times 1.2 \times 1.5 \times 1.5) \times 0.254 + \frac{9.419 \times 9.419}{145.66} \right) \times 0.466 = 32440 \text{ L}$
實 用 容 量	30000 L
空 間 容 量	$32440 - 30000 = 2440$
空 間 比	$2440 / 32440 \times 100 = 7.521\%$

燃料タンク
容量等記載